

2月19日 震度7を体験 武蔵西小で防災訓練

武蔵西小学校で地震を想定した避難訓練が行われ、校庭に避難した児童や武蔵保育所の園児が、地震体験車「ユレルンダー」に乗車しました。東日本大震災規模の震度7の揺れを体験した児童は「激しい揺れにびっくりした。実際に起きた時は、落ち着いて行動し自分の命を守りたい」と話していました。

地震体験車は県が昨年12月に導入し、県内各地の小中学校などで防災教育のために活用されています。



2月21日 雨の修正鬼会

国東町の岩戸寺で「修正鬼会」が開催されました。あいにくの雨でしたが、市内外から多くの参拝者が訪れ、仏の里の伝統行事を堪能しました。午後10時半に仏の化身とされる2匹の鬼が登場し、独特な掛け声で舞を見せ、松明で参拝者の肩や背中を叩いて、無病息災を祈りました。



深夜、鬼たちは介添役のタイレンとともに、岩戸寺区内の4家庭をまわりました。6年前に当地区に移住した石丸武範さんは、「伝統ある修正鬼会のお接待ができ、地区の一員になれた感じがします」と喜び、鬼に酒をすすめていました。



2月15日 笑いと歓声 豊崎地区総合文化祭



国東町の旧豊崎小学校体育館で、第36回豊崎地区総合文化祭が行われ、地区住民約250人が参加しました。地区の親睦を深めようと毎年開催しており、ステージでは舞踊、カラオケ、コーラス、バンド演奏などが次々と披露されました。



文化祭のために結成する「小畑劇団」は、吉四六さんの劇を熱演し、会場は笑いと歓声に包まれました。

2月17日 熊毛小児童がしいたけ栽培を体験



熊毛小学校5年生の児童10人が、しいたけの駒打ちや収穫を体験しました。熊毛小学校は、世界農業遺産に認定された国東半島のしいたけ栽培について学習を続けており、この日は地元のしいたけ農家山口勝治さんの指導を受け、収穫や駒打ち、乾燥作業を体験しました。

児童たちは後日、学校でしいたけを使った豚汁やバター焼を作り、試食をしました。



2月8日 舞う、継ぐ。丸小野子供修正鬼会

武蔵町丸小野地区の伝統行事「丸小野子供修正鬼会」が行われ、伝統を受け継ぐ地元の男児5人が大役を務めました。



小雪の舞う寒い夜、座元の中野雄二さん宅で盃の儀を行った後、近くの山中にある稲荷様へ移動。子鬼たちは香水棒を打ち鳴らして舞を披露し、参拝者を囲み無病息災の加持をしました。

2月1日 文化財を守れ！ 浄国寺で防火訓練



「文化財防火デー」の一環として安岐町瀬戸田の浄国寺で、文化財防火訓練が行われました。地元住民や寺の関係者が火災を通報し、文化財に見立てた箱を搬出。市消防本部や消防団が消火活動を行いました。また住民のみなさんを対象とした、消火器の



取り扱い講習も実施されました。浄国寺では境内にある「一石五輪塔」が、市指定文化財に登録されています。

2月11日 みんなで取り組もう 健康チャレンジ！

「つながろう地域！伸ばそう健康寿命」をテーマに、東国東地域健康づくり推進大会がアストくにさきで開催され、約400名が参加しました。

大会では「さ吉くん元気！健康チャレンジ」の表彰式や、地域のみなさんの体験発表が行われ、講演では健康運動指導士の渡辺玲子さんが、地域で健康づくりに取り組む大切さを話しました。気軽にできるタオル体操の指導もあり、参加者は「大会限定さ吉くんタオル」を使って楽しく体を動かしました。



2月4日 健闘を祈る。国見中女子卓球部全国へ



1月に行われた「県中学校選抜卓球大会」で優勝した国見中学校女子卓球部が、三河市長に「全国中学選抜卓球大会」への出場を報告しました。部員は1・2年生の11人で、顧問の中村真美教諭やコーチの江原加代子さんの指導で、県内外への練習試合も多数経験しています。

全国大会は3月末に埼玉県で開催予定で、石井愛良主将は「県代表として1つでも多く勝利したい」と意気込みを語りました。